

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2020年11月4日

**【四半期会計期間】** 第19期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

**【会社名】** GMOペパボ株式会社

**【英訳名】** GMO Pepabo, Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 佐藤 健太郎

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区桜丘町26番1号

**【電話番号】** 03-5456-2622 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 五十島 啓人

**【最寄りの連絡場所】** 東京都渋谷区桜丘町26番1号

**【電話番号】** 03-5456-2622 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 五十島 啓人

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第18期 第3四半期 連結累計期間	第19期 第3四半期 連結累計期間	第18期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	6,690,992	8,293,595	8,943,032
経常利益	(千円)	716,827	1,021,874	835,768
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	541,770	627,250	542,746
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	491,092	638,013	495,993
純資産額	(千円)	1,734,112	2,068,485	1,769,892
総資産額	(千円)	6,033,915	7,279,649	6,371,807
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	103.84	120.30	104.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	102.90	119.64	103.24
自己資本比率	(%)	27.8	27.8	27.0

回次		第18期 第3四半期 連結会計期間	第19期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	27.09	44.64

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、2019年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第18期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等) セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本項に記載した将来事象に関する予測・見通し等は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、それらには不確実性が内在し将来の結果とは大きく異なる可能性があります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当社は「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションのもと、主に個人の表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。2020年12月期は、レンタルサーバーサービス「ロリポップ!」やネットショップ作成サービス「カラーミーショップ」などの主力ストックサービスの顧客単価アップによる堅調な伸びに加え、2019年12月期より黒字化したハンドメイドマーケットサービス「minne」のさらなる収益拡大を図ります。また、成長著しいオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」やフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」への投資を継続する計画です。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月に予定していた「minneのハンドメイドマーケット2020」を中止いたしました。4月の緊急事態宣言後には、オフラインからオンラインへの流れが加速したこともありネットショップ作成サービス「カラーミーショップ」への申込みが増加するなど、ストックサービスの契約件数は堅調に推移しました。また、外出自粛に伴う「巣ごもり需要」拡大後もEC利用は高い水準で推移していることから「SUZURI」や「minne」のようなフロー型ECサービスの流通額は好調に推移しました。一方で、フリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」について、第1四半期連結累計期間においては、昨年からの引き続き体制強化及び広告投資を行った結果、利用者数や買取請求額が増加したものの、4月の緊急事態宣言以降、企業の経営悪化や方針転換などによるフリーランスへの発注額の減少や単価の下落、国や行政による給付金の利用拡大により利用者数が減少し、請求書買取額の伸びが鈍化しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高8,293,595千円（前年同期比24.0%増）、営業利益965,994千円（前年同期比39.5%増）、経常利益1,021,874千円（前年同期比42.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益627,250千円（前年同期比15.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ① ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ!」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しております。「ロリポップ!」の契約件数におきましては、411,336件（前年同期末比1.0%増）となりました。上位プランやオプション機能への誘導強化の結果、顧客単価は381円（前年同期比4.1%増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、過去に実施した新ドメインの割引キャンペーンで取得されたドメインの更新率が低かったことにより、登録ドメイン数は1,202,451件（前年同期末比1.7%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高3,443,580千円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は1,052,355千円（前年同期比0.3%増）となりました。

## ② EC支援事業

EC支援事業には、月額制ネットショップ作成サービスにおける国内店舗数No.1の「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。「カラーミーショップ」におきましては、4月の緊急事態宣言以降に実店舗を運営されている方からのオンラインショップ開設の需要が拡大しましたが、第1四半期末までの減少が大きく、契約件数は41,085件（前年同期末比1.4%減）となりました。また、継続的なアップセル及びクロスセル施策に加え、外出自粛要請に伴う巣ごもり需要拡大後もEC利用が堅調に推移していることを背景に流通金額が増加し、流通金額に応じて決済代行会社から受領する紹介手数料が増加したことにより、顧客単価は3,230円（前年同期比21.3%増）と大きく増加しました。

「SUZURI」におきましては、継続的な新アイテムの追加やSNS内で影響力のあるクリエイターの誘致を行ったことに加えて、2020年8月に実施したTシャツセールなど各種セールやキャンペーンなどが奏功し、会員数は64万人（前年同期末比90.0%増）、流通額は18億円（前年同期比197.5%増）と大幅に増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は3,043,954千円（前年同期比63.8%増）、セグメント利益は987,625千円（前年同期比47.2%増）となりました。

## ③ ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大のハンドメイドマーケットサービス「minne」が属しております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月開催予定であった大規模オフラインイベント「minneのハンドメイドマーケット2020」を中止いたしました。一方で、外出自粛による「巣ごもり需要」の拡大や緊急事態宣言後のEC利用の堅調な推移に加え、各種クーポンやキャンペーンなどの販促活動を行ったことに伴い、当第3四半期連結累計期間における流通金額は112億円（前年同期比26.1%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,506,602千円（前年同期比25.4%増）、セグメント利益は301,398千円（前年同期比284.0%増）となりました。

## ④ 金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGMOクリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」が属しております。2018年10月より提供している「FREENANCE」におきましては、事業拡大に伴う人員増加に加えて、継続的な機能開発及びWebプロモーションなどの投資を行っており、第1四半期累計期間まで順調に利用者数や請求書買取額が増加していました。しかし、4月の緊急事態宣言以降、企業の経営悪化や方針転換などによるフリーランスへの発注額の減少や単価の下落、国や行政による給付金の利用拡大により利用者数が減少し、請求書買取額の伸びが鈍化しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は99,403千円（前年同期比428.9%増）、セグメント損失は230,056千円（前年同期間におけるセグメント損失は107,967千円）となりました。

## ⑤ その他

その他には、当社が運営するブログサービス「JUGEM」に加えて、連結子会社であるGMOクリエイターズネットワーク株式会社が運営するWebコンテンツ制作事業が属しております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は200,054千円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は37,884千円（前年同期比4.4%減）となりました。

また、当第3四半期連結会計期間における財政状態の概況は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,279,649千円（前連結会計年度末比907,842千円増）となりました。これは、主に売掛金が518,415千円及び現金及び預金が509,244千円増加した一方で、関係会社預け金が150,000千円減少したことによるものであります。

負債は5,211,163千円（同609,248千円増）となりました。これは、主に前受金が196,047千円、未払金が144,860千円、預り金が92,425千円、営業未払金が60,491千円及び未払法人税等が54,945千円増加したことによるものであります。

純資産は2,068,485千円（同298,593千円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が627,250千円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が338,870千円減少したことによるものであります。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は24,304千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月4日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,434,600	5,434,600	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数100株
計	5,434,600	5,434,600	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### ① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	—	5,434,600	—	159,677	—	149,677

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 217,600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,214,200	52,142	—
単元未満株式	普通株式 2,800	—	—
発行済株式総数	5,434,600	—	—
総株主の議決権	—	52,142	—

② 【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) GMOペパボ株式会社	東京都渋谷区桜丘町26番1号	217,600	—	217,600	4.00
計	—	217,600	—	217,600	4.00

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,753,562	2,262,806
関係会社預け金	700,000	550,000
売掛金	2,043,295	2,561,710
商品	7,794	8,819
貯蔵品	1,356	2,122
その他	428,210	463,353
貸倒引当金	△17,742	△62,178
流動資産合計	4,916,476	5,786,633
固定資産		
有形固定資産	263,706	288,064
無形固定資産	403,025	462,762
投資その他の資産		
投資有価証券	682,223	653,486
その他	106,375	88,702
投資その他の資産合計	788,598	742,188
固定資産合計	1,455,330	1,493,015
資産合計	6,371,807	7,279,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	177,146	237,638
未払金	1,620,261	1,765,121
未払法人税等	231,701	286,646
前受金	1,752,570	1,948,617
預り金	382,770	475,195
賞与引当金	74,556	36,000
ポイント引当金	3,846	442
その他	332,056	434,428
流動負債合計	4,574,910	5,184,090
固定負債		
資産除去債務	27,004	27,073
固定負債合計	27,004	27,073
負債合計	4,601,915	5,211,163

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	159,677	159,677
資本剰余金	160,004	160,906
利益剰余金	1,723,191	2,011,571
自己株式	△456,185	△448,905
株主資本合計	1,586,687	1,883,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,091	143,853
その他の包括利益累計額合計	133,091	143,853
新株予約権	50,113	41,381
純資産合計	1,769,892	2,068,485
負債純資産合計	6,371,807	7,279,649

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,690,992	8,293,595
売上原価	2,748,431	3,384,887
売上総利益	3,942,561	4,908,707
販売費及び一般管理費	3,249,985	3,942,712
営業利益	692,576	965,994
営業外収益		
受取利息	864	353
受取配当金	2,280	2,553
投資事業組合運用益	8,157	42,275
持分法による投資利益	15,964	4,018
その他	10,962	16,394
営業外収益合計	38,228	65,595
営業外費用		
投資事業組合運用損	4,540	3,203
支払手数料	7,932	5,500
その他	1,504	1,012
営業外費用合計	13,977	9,716
経常利益	716,827	1,021,874
特別利益		
投資有価証券売却益	11,671	—
特別利益合計	11,671	—
特別損失		
イベント中止損失	—	13,286
リース解約損	1,820	—
特別損失合計	1,820	13,286
税金等調整前四半期純利益	726,679	1,008,588
法人税、住民税及び事業税	218,618	368,903
法人税等調整額	26,987	12,433
法人税等合計	245,606	381,337
四半期純利益	481,072	627,250
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,698	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	541,770	627,250

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	481,072	627,250
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,019	10,762
その他の包括利益合計	10,019	10,762
四半期包括利益	491,092	638,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551,790	638,013
非支配株主に係る四半期包括利益	△60,698	—

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	163,160千円	179,589千円
のれんの償却額	12,030千円	一千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月18日 取締役会	普通株式	276,982	105.00	2018年12月31日	2019年3月18日	利益剰余金

- (注) 1. 1株当たり配当額には上場10周年記念配当10円が含まれております。  
2. 当社は、2019年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。  
「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月25日 取締役会	普通株式	338,870	65.00	2019年12月31日	2020年3月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,403,444	1,858,907	1,201,729	18,792	6,482,874	208,117	6,690,992	—	6,690,992
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,403,444	1,858,907	1,201,729	18,792	6,482,874	208,117	6,690,992	—	6,690,992
セグメント利益 又は損失(△)	1,049,111	671,161	78,498	△107,967	1,690,803	39,632	1,730,435	△1,037,859	692,576

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△1,037,859千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,443,580	3,043,954	1,506,602	99,403	8,093,540	200,054	8,293,595	—	8,293,595
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,443,580	3,043,954	1,506,602	99,403	8,093,540	200,054	8,293,595	—	8,293,595
セグメント利益 又は損失(△)	1,052,355	987,625	301,398	△230,056	2,111,322	37,884	2,149,207	△1,183,212	965,994

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△1,183,212千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの区分方法の変更

第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「金融支援事業」について金額的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	103円84銭	120円30銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	541,770	627,250
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	541,770	627,250
普通株式の期中平均株式数(株)	5,217,460	5,214,196
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	102円90銭	119円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	47,783	28,735
(うち新株予約権)(株)	(47,783)	(28,735)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、2019年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月2日

GMOペパボ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 尚子 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 朽木 利宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGMOペパボ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、GMOペパボ株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。